

第 35 回 奥村太一さん（上越教育大学）

日本心理学会若手の会コラムリレーでは、若手のみなさまに、ご活躍されている領域や普段の生活についてご紹介いただきます。

第 35 回目は、奥村太一さん（上越教育大学）にご執筆いただきました。

「チーム心理学者」の一員として

もともと心理職を志望していたのですが、学部で心理統計学の面白さにやられ心変わりしました。ただ、面白いとは思ったものの実力が伴わず今に至るまで苦しみの連続です。心理学研究で用いられるデータ解析手法はここ最近で爆発的に多様化しており、先端を走るところか時代の趨勢に追いついていくだけで精一杯です。そのような中で自分の存在意義を見失わないために、心理学者と共同して研究に携わることがとても重要だと考えています。データ収集の計画立案と解析という心理学研究の質を左右する中核的なプロセスにおいて、自身の専門性を発揮することができるからです。そのためには多くのことを勉強する必要性が出てきますし、また自身の研究テーマについても貴重なヒントが得られます。現在は、教師のメンタルヘルスを評価するアセスメントツールの開発、意思疎通の困難な重症心身障害児に対する教育的介入の効果検証などに参加させて頂いています。

奥村太一（Taichi_OKUMURA）さん

【ご所属】 上越教育大学

【ご連絡先】 okumura@juen.ac.jp

【ホームページ】 <http://www.juen.ac.jp/lab/okumura/>

【その他】 共同研究者としてお役に立てそうなことがありましたらお声掛けください。